

121 医師確保と医療体制の整備

12101 医療分野の人材確保（担当課：総務企画課、健康増進課、地域保健課）

主な取組内容

1. 保健師は、管内市、産業保健師等関係者と連携をとりながら、地域住民の心身の健康保持、増進、健康の回復、疾病予防を目的とし、家庭訪問、健康相談、集団検診、健康教育等を実施します。
2. 看護業務・医療業務・栄養業務等に従事しようとする学生に対して保健所実習指導を実施します。

1 保健師配置状況

（平成 25 年 5 月 1 日現在）

計	鈴鹿保健所	鈴鹿市	亀山市
48	8	26	14

2 看護学生等の実習指導

学校名	学生数	グループ数	実習日数
三重県立看護大学（保健師等）	4	1	8
三重大学医学部看護学科（保健師等）	6	1	11
四日市看護医療大学（保健師等）	6	1	8
鈴鹿医療科学大学（管理栄養士）	6	1	5
畿央大学（管理栄養士）	1	1	5

12102 救急・へき地等の医療の確保（担当課：総務企画課）

主な取組内容

1. 地域住民の救急医療を確保するため、市と協働して初期、二次救急医療機関体制の整備を行います。
2. 病院（二次医療）と診療所（初期医療）との機能分化を推進するため、地域住民に対して啓発を行います。
3. 救急告示医療機関との連携をはかります。

1 地域救急医療対策事業

鈴鹿亀山地域内の救急医療体制の充実強化及び救急業務の高度化を推進するため、関係機関等が救急医療体制等について協議し、地域の実情に即応した体制整備の推進をはかるとともにメディカルコントロール体制の実質的な調整を行い、傷病者の搬送途上の救命効果の一層の向上をはかります。

（1）平成 25 年度鈴鹿亀山地域救急医療対策協議会の開催

鈴鹿亀山地域の救急医療体制の充実・強化をはかるため、関係機関等が救急医療体制等について協議し、地域の実情に即応した体制の整備とその積極的な推進をはかることを目的として開催します。

構成員：鈴鹿市医師会、亀山医師会、三重県歯科医師会鈴鹿亀山支部、鈴鹿亀山薬剤師会、鈴鹿中央総合病院、鈴鹿回生病院、亀山市立医療センター、鈴鹿市、亀山市、鈴鹿市消防本部、亀山市消防本部、鈴鹿警察署、亀山警察署、鈴鹿地域防災総合事務所、鈴鹿保健所

開催日・場所	内容
第1回 平成26年3月17日(月) 鈴鹿庁舎 衛生教育室	(1) 報告事項 ・平成25年度の活動報告について ・平成25年度鈴鹿亀山地域メディカルコントロール協議会の活動報告について ・平成25年度鈴鹿亀山地域感染症等健康危機管理ネットワーク会議の活動報告について ・平成25年度鈴鹿亀山地域災害医療対策部会の活動報告について (2) 情報提供 ・救急医療情報センターについて

2 救急告示病院

救急告示病院は、地域における救急業務の対象となる傷病者の発生状況等を勘案して認定しています。

(1) 鈴鹿地域救急告示病院

(平成25年3月31日現在)

名称	住所	電話番号
三重県厚生連 鈴鹿中央総合病院	鈴鹿市安塚町山之花 1275-53	059-382-1311
鈴鹿回生病院	鈴鹿市国府町字保子里 112-1	059-375-1212
医療法人誠仁会 塩川病院	鈴鹿市平田 1-3-7	059-378-1417
高木病院	鈴鹿市高岡町 550	059-382-1385
亀山市立医療センター	亀山市亀田町 466-1	0595-83-0990
川口整形外科	亀山市野村 4-4-19	0595-82-8721

12103 医療の質の向上 (担当課：総務企画課)

主な取組内容

1. 地域医療提供体制の整備を推進するため、日常の健康管理や適切な初期診療などを身近なところで提供する「かかりつけ医」の推進をはかります。
2. 医療法及び関係法令に基づき医療機関に対して立入検査等を行います。

1 医務

医療機関の適切な役割分担を促進します。

(1) 施設数

(平成26年3月31日現在)

	病院	一般診療所	歯科診療所	助産所	施術所	歯科技工所
計	11	191	105	5	105	32
鈴鹿市	8	153	86	3	92	27
亀山市	3	38	19	2	13	5

(休止施設は内数)

(2) 病床数 (病院、診療所)

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

	病 院						一般診療所病床 (療養病床含む)
	計	精神 病床	感染症 病床	結核 病床	一般 病床	療養 病床	
管内	2,277	553	0	0	1,332	392	188
鈴鹿市	2,022	553	0	0	1,232	237	157
亀山市	255	0	0	0	100	155	31

(3) 医療関係者数

	医 師	歯 科 医 師	薬 劑 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師	歯 科 衛 生 士	歯 科 技 工 士
計	411	140	395	117	42	1,631	574	189	69
鈴鹿市	368	119	349	102	40	1,477	491	168	56
亀山市	43	21	46	15	2	154	83	21	13

医師、歯科医師、薬剤師については、従事先の届出数（平成 24 年 12 月 31 日）、保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科技工士、歯科衛生士については就業届出数（平成 24 年 12 月 31 日）

2 医療監視状況（桑名保健所兼務職員により実施）

医療法等関係法令に基づき、鈴鹿保健所管内の病院及び診療所に立ち入り、法令等に規定された人員の配置や構造設備に関する検査を行い、適正且つ良質な医療を確保するための指導助言を行いました。

		対象施設数	立入検査実施数	実施率
病院		11	11	100.0%
診療所	医科	(6)	(0)	0.0%
	歯科	184	37	20.1%
		105	22	21.0%

※ 診療所の立入検査については、5 年で一巡するよう 20%以上の実施率を目標にしています。

平成 22 年度から診療所医科の中に助産所を含みました。

全施設数は、平成 25 年 4 月 1 日現在。() 数は助産所再掲。

123 こころと身体の健康対策の推進

12301 健康づくり活動の推進（担当課：健康増進課）

主な取組内容

1. 市、企業、学校、NPO ならびに医師会など関係団体に対し、健康づくり活動の連携体制を確立するための働きかけを積極的に行います。
2. 社会情勢に応じた地域保健活動を推進するため、地域や関係団体等の健康づくり担当者に対して研修会などを開催します。
3. 給食施設を運営する事業者や「健康づくり応援の店」と協働して、健康に配慮した食の提供を行えるよう、食環境の充実をはかります。
4. バランスのとれた望ましい食生活を営む力を身につけ、自分の健康に意識を持った県民をつくるため、人材育成や栄養指導を行います。

1 健康づくり総合推進事業

三重の健康づくり基本計画「ヘルシーピープルみえ・21」に基づき、健康づくりに関する普及啓発を行うとともに各関係機関と連携し、地域住民が健康づくりに取り組むための環境整備を行います。

(1) 健康づくり推進に関する連絡調整

地域保健と産業保健の関係者で、健康づくりの推進について情報共有及び推進方法を検討します。

開催日・場所	内容
平成 25 年 7 月 19 日 (金) ・ 鈴鹿市保健センター ・ 鈴鹿亀山地域産業保健センター	25 年度健康づくり事業について

(2) 研修会の開催

産業保健・学校保健・地域保健の関係者による健康づくりの取組を推進し、管内の健康指標のレベルアップを図ります。

開催日・場所	内容	出席者
平成 25 年 12 月 11 日 (水) 鈴鹿市勤労者福祉会館	講演「職場のメンタルヘルス」	60

(3) 啓発活動の実施

啓発活動の取り組みとして、地域で開催される各種イベントへの参加、出前健康講座、リーダー養成研修会等を開催し、健康づくりについて広く PR に努めます。

ア 各種イベントにおける啓発

実施日	イベント名・主催・参加者数	内容
平成 25 年 4 月 21 日 (日)	ふれあい家族スタンプラリー 連合三重鈴鹿 約 1,000 名	食生活、禁煙、歯科等の健康づくりに関する啓発 参加者数 計 約 3,452 名
平成 25 年 5 月 31 日 (金)	世界禁煙デー 鈴鹿保健所 250 名	
平成 25 年 6 月	禁煙週間 鈴鹿保健所 1,600 名	
平成 25 年 9 月 8 日 (日)	救急・健康フェア 鈴鹿市 202 名	
平成 25 年 10 月 20 日 (日)	あいあいまつり 亀山市 100 名	
平成 25 年 11 月	8020 運動推進月間 鈴鹿保健所 300 名	

2 健康食育推進事業

県民が健康的な食生活が実践できるように、栄養バランスに対する理解や「食事バランスガイド」を活用した取組を具体的に啓発し、県民のライフステージに応じた食環境づくりを推進します。

(1) 野菜フル 350 推進事業

県民に不足している野菜摂取について、1日の野菜摂取量の目標量を 350g（食事バランスガイドで副菜5つ）とし、野菜摂取の増加を推進します。

また、健康的な朝食習慣の定着及び野菜摂取不足の解消を図るため、朝食においては食事バランスガイドで副菜1つを摂取することを推進します。

ア セミナーの開催

開催日・場所	内容	出席者
平成 25 年 4 月 24 日（水） 鈴鹿庁舎 46 会議室	野菜フル 350 の推進	53
平成 25 年 10 月 2 日（水） 鈴鹿市保健センター	栄養教室	30
平成 25 年 10 月 3 日（木） 事業所集会室	生活習慣病と野菜摂取	180

イ 啓発

開催日・場所	内容	啓発数
平成 25 年 6 月 健康づくり応援の店	野菜フル 350 の推進	750
平成 25 年 10 月 7 日（月） 鈴鹿地域職業訓練センター	コープみえ「食品・くらしの活動交流会」 鈴鹿医療科学大学と協働による野菜フル 350 の推進	176

3 栄養施行事務事業

(1) 給食施設指導事業

健康増進法、健康増進法施行規則に基づき、給食施設の把握、給食施設における栄養管理・食育の充実に向けた指導助言を行うとともに、給食関係者の資質向上をはかるため研修会を開催します。

ア 巡回指導等指導延施設数

施設区分		施設数
特定給食施設数 (1回 100 食以上又は 1日 250 食以上)	① 知事指定施設	8
	② ①以外の特定給食施設	14
③ その他の給食施設数		25
計		47

イ 給食施設従事者研修会の開催

開催日・場所	内容	参加者数
平成 26 年 3 月 7 日 (金) 鈴鹿庁舎 46 会議室	1. 講演「日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類 2013」の紹介 2. グループワーク「食べて・飲んで・感じてみよう！」part 2 ーミキサー食の困りごとを解決ー 3. 料理デモ	40

(2) 人材育成・支援事業

地域で活動する食に関係する団体、食育関係者等に対して研修や情報発信等を通して、地域リーダーの育成と活動の活性化に向けた支援を行います。

ア 地域活動栄養士研修会の開催

開催日	内容	参加者数
平成 25 年 4 月 22 日 (月)	講演：「健康的な食生活の進め方」 ～平成 23 年度県民健康・栄養調査結果から～	6

イ 地域活動栄養士会への活動支援

開催回数	延人員	会員数
11	70	8

ウ 地区組織活動支援

開催日・対象者	内容	参加者数
平成 25 年 4 月 24 日 (水) 食生活改善推進員	講演「健康的な食生活の進め方」 ～平成 23 年度県民健康・栄養調査結果から～	53
平成 26 年 3 月 13 日 (木) 食生活改善推進員	講演「食品表示および栄養表示について」	55

(3) 栄養表示等相談・指導

健康増進法第 26 条に基づく特別用途食品表示、栄養表示基準並びに同法第 32 条の 2 に基づく誇大表示の禁止に関する相談や指導・助言を行います。

相談・指導件数	3
---------	---

(4) 栄養指導事業

健康増進法第18条に基づき栄養相談・指導を行います。

	個別指導延人員			集団指導延人員	
	栄養指導	(再掲) 病態別	(再掲) 訪問による	栄養指導	(再掲) 病態別
妊産婦	0	0	0	0	0
乳幼児	0	0	0	0	0
20才未満	0	0	0	0	0
20才以上	3	3	0	40	40

4 国民健康・栄養調査

健康増進法に基づき、国が指定する地区住民の身体状況及び栄養摂取状況、生活習慣等の調査を実施します。

実施期間	対象地区	実施世帯	実施人員
平成25年11月	鈴鹿市内 1地区	15	40

12302 こころの健康づくりの推進（担当課：健康増進課）

主な取組内容

1. 県民がこころの健康づくりの重要性を認識し、自ら実践することができるようにするため、こころの健康に関する啓発を行います。
2. 身近なところでこころの健康づくりを支援できるよう、職域、学校、地域機関等と協働して、支援体制を整備します。

1 自殺対策事業

啓発及び住民に身近な健康づくりを担う各市・市民団体の後方支援と人材育成を行います。

(1) 啓発活動の実施

実施日	①イベント名 ②主催 ③内容	参加者または配布数
平成25年9月7日 (土)	① 神戸高校文化祭 ② 神戸高校 ③ アルコール体質判定・こころの健康づくり啓発	120
平成25年9月8日 (日)	① 鈴鹿市救急フェスタ・健康まつり ② 鈴鹿市 ③ アルコール体質判定・こころの健康づくり啓発	202
平成25年9月12日 (木)	① 自殺予防週間啓発 ② 鈴鹿保健所 ③ イオン白子店・一号館において啓発用ティッシュ配布・ホームページでの周知	450
平成25年9月	① 自殺予防週間啓発 ② 鈴鹿保健所 ③ 各会議・研修会・市民団体等で啓発用ティッシュ配布	876

平成 25 年 10 月 20 日 (日)	①亀山市あいあい祭り ②亀山市 ③アルコール体質判定・こころの健康づくり啓発	100
平成 26 年 3 月	①自殺対策強化月間啓発 ②鈴鹿保健所 ③ハローワーク・パチンコ店で啓発用ティッシュ配布 各会議・研修会・市民団体等で啓発用ティッシュ 配布・ホームページでの周知	1000 356

(2) 人材育成

開催日	内 容	参加者数
平成 25 年 11 月 7 日 (木)	セミナー「自殺予防のための保育士を対象とした健康教育」 講師：CAP スペシャリスト 対象：鈴鹿市内私立保育園 保育士・職員等	21
平成 25 年 8 月 29 日 (木)	鈴鹿市教職員研修「子どもたちの生きる力を育む～ソーシャルスキルトレーニングの視点から～」 講師：Office 夢風舎 舎長 土屋 徹氏 対象：管内小中学校教職員等	25
平成 25 年 9 月 25 日 (水)	支援者研修会「精神疾患を併せ持った高齢者への関わり方について」 講師：三重県立こころの医療センター 認知症看護認定 看護師 田中 徹氏 対象：保健・医療・福祉・市民団体等	66
平成 26 年 2 月 6 日 (木)	支援者研修会「精神に障がいのある親を持つ子どもへの理解と支援」 講師：三重大学医学部看護学科 助教 土田 幸子氏 対象：保健・医療・福祉・教育・市民団体等	41
平成 25 年 12 月 11 日 (水)	地域職域研修「職場のメンタルヘルス～健康に働き続けるために～」 講師：三重県立こころの医療センター 精神科認定看護 師 林 朋代氏 対象：鈴鹿市内労働組合加入者・健康管理者等	60

(3) 地域うつ・自殺対策ネットワーク会議

開催日	内 容	参加人数
平成 25 年 7 月 24 日 (水)	体験報告「自死遺族の想いとガーベラ会の活動について」 活動紹介 講師：自死遺族サポートガーベラ会代表 松下 恵美氏 参加者：保健・医療・福祉・教育・労働・司法・市民団 体等	40

平成 26 年 2 月 6 日 (木)	平成 25 年度実績報告及び平成 26 年度計画について 参加者：保健・医療・福祉・市民団体等	20
---------------------	--	----

(4) メンタルパートナー養成

実施主体	対 象	回 数	養成人員
鈴鹿保健所	住民・学生・行政	12	443
鈴鹿市	住民・行政	4	352
計		16	795

(5) 関係機関・団体との協働および支援

関係機関・団体名	内 容
鈴鹿市	講演会・啓発活動の協働実施
亀山市	啓発活動の協働実施
いのちと心を守る鈴鹿市民の会	定例会・研修会・講演会・居場所等への支援
ママホッとルーム鈴鹿	ホッとカフェ参加

12303 生活習慣病・難病等対策の推進 (担当課：衛生指導課、地域保健課、健康増進課)

主な取組内容

1. 休日ドナー登録をはじめとする骨髄バンク普及啓発およびドナー登録の推進をはかり、新規ドナー登録者を確保します。
2. 県民に臓器移植に対する理解と協力を求めるため、啓発事業を行います。
3. 難病患者およびその家族のQOL (生活の質) の向上をはかります。
4. B型・C型肝炎のウイルス除去を目的とするインターフェロン治療にかかる医療費の助成をします。

1 骨髄バンク事業

白血病や再生不良性貧血など血液難病の患者にとって生への希望である骨髄バンクが円滑に実施されるよう、骨髄移植に関する正しい知識の普及啓発を行い、骨髄提供希望者登録 (ドナー登録者) の推進をはかります。

(1) 骨髄提供登録受付業務

鈴鹿保健所において毎月第 2 水曜日に登録受付を実施します。

登録者数	20
------	----

(2) 休日臨時ドナー登録受付の実施

骨髄バンクを支援するボランティア団体「勇気の会四日市支部」と協働で臨時登録窓口を開設します。

開設日	場 所	登録者数
平成 25 年 11 月 11 日 (日)	鈴鹿医療科学大学の大学祭	19

2 臓器移植啓発事業

臓器提供に関する正しい知識の普及啓発を行い、臓器提供意思表示カードの推進をはかります。

(1) 臓器提供の普及啓発

骨髄バンクのイベントにあわせて、リーフレットの配布等で普及啓発を行います。

(2) 臓器提供意思表示カードの配布

鈴鹿保健所の窓口において、臓器提供意思表示カードを配布します。



3 難病対策事業

難病患者およびの医療費助成や福祉サービスを支援します。

(1) 特定疾患治療研究事業

特定疾患として指定された 56 疾患について、治療法の確立に向けた研究を行うとともに、その患者の医療保険の自己負担分を治療研究事業として公費負担することにより軽減します。

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

	疾患名	受給者数
1	ベーチェット病	24
2	多発性硬化症	45
3	重症筋無力症	39
4	全身性エリテマトーデス	97
5	スモン	2
6	再生不良性貧血	26
7	サルコイドーシス	47
8	筋萎縮性側索硬化症	18
9	強皮症、皮膚筋炎又は多発性筋炎	105
10	特発性血小板減少性紫斑病	74
11	結節性動脈周囲炎	10
12	潰瘍性大腸炎	304
13	大動脈炎症候群	15
14	ビュルガー病	7
15	天疱瘡	13
16	脊髄小脳変性症	58
17	クローン病	67
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1
19	悪性関節リウマチ	7
20	パーキンソン病	298
21	アミロイドーシス	5
22	後縦靭帯骨化症 (黄色靭帯骨化症含む)	88
23	ハンチントン舞踏病	4
24	モヤモヤ病 (ウィリス動脈輪閉塞症)	29
25	ウェゲナー肉芽腫症	2
26	特発性拡張型 (うっ血型) 心筋症	128
27	多系統萎縮症	21
28	表皮水疱症 (接合部型及び栄養障害型)	0

29	膿疱性乾癬	3
30	広範脊柱管狭窄症	6
31	原発性胆汁性肝硬変	38
32	重症急性膵炎	3
33	特発性大腿骨頭壊死症	15
34	混合性結合組織病	18
35	原発性免疫不全症候群	1
36	特発性間質性肺炎	7
37	網膜色素変性症	38
38	クロイツフェルト・ヤコブ病	1
39	原発性肺高血圧症	5
40	神経線維腫症	6
41	亜急性硬化性全脳炎	1
42	バッド・キアリ (Budd-Chiari) 症候群	0
43	特発性慢性肺血栓栓症 (肺高血圧型)	3
44	ライソゾーム病 (ファブリー病含)	1
45	副腎白質ジストロフィー	1
46	家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)	0
47	脊髄性筋萎縮症	1
48	球脊髄性筋萎縮症	2
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	11
50	肥大型心筋症	2
51	拘束型心筋症	0
52	ミトコンドリア病	1
53	リンパ脈管筋腫症 (LAM)	1
54	重症多形滲出性紅斑 (急性期)	0
55	黄色靱帯骨化症	13
56	間脳下垂体機能障害	22
計		1,734

* 46~56は、平成21年10月1日から特定疾患治療研究事業に追加された

(2) 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

先天性血液凝固因子障害等患者のおかれている特別な立場にかんがみ、その患者の医療保険の自己負担分を治療研究事業として公費負担することにより軽減します。

(平成26年3月31日現在)

疾患名	受給者証交付件数
第Ⅰ因子 (フィブリノゲン) 欠乏症	2
第Ⅱ因子 (プロトロンビン) 欠乏症	0
第Ⅴ因子 (不安定因子) 欠乏症	2
第Ⅶ因子 (安定因子) 欠乏症	0
第Ⅷ因子欠乏症 (血友病A)	2
第Ⅸ因子欠乏症 (血友病B)	3
第Ⅹ因子 (スチュアートプラウア因子) 欠乏症	0
第ⅩⅢ因子 (フィブリン安定化因子) 欠乏症	0
Von Willebrand (フォン・ヴィルブランド) 病	2
第ⅩⅠ因子 (PTA) 欠乏症	0
第ⅩⅡ因子 (ハイグマン因子) 欠乏症	0
計	11

(3) 肝炎治療特別推進事業

B型・C型肝炎ウイルス性肝炎の根治を目的として行うインターフェロン治療並びにB型ウイルス性肝炎に対して行われる核酸アナログ製剤治療にかかる医療費（保険適応分）の自己負担分の一部を公費で助成します。

ア 肝炎種別申請人数（新規）

（平成 25 年度）

B型慢性肝炎	C型慢性肝炎	代償性肝硬変（再掲）	非代償性肝硬変（再掲）	計
20	23	(2)	(1)	43(3)

イ 肝炎インターフェロン治療受給者の状況（新規・2回目利用・延長・3剤併用）

(7) 男女別人数

（平成 25 年度）

男性	女性	計
21	12	33

(イ) 年齢別人数

（平成 25 年度）

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	計
1	6	9	3	11	3	0	33

ウ 肝炎核酸アナログ治療受給者の状況（新規）

(7) 男女別人数

（平成 25 年度）

男性	女性	計
14	5	19

(イ) 年齢別人数

（平成 25 年度）

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	計
0	3	6	2	6	1	1	19

エ 肝炎核酸アナログ治療受給者の状況（更新）

(7) 男女別人数

（平成 25 年度）

男性	女性	計
57	35	92

(イ) 年齢別人数

（平成 25 年度）

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	計
2	8	23	25	26	7	1	92

4 難病在宅ケア事業

保健、医療及び福祉の各関係機関が相互に連携し、特定疾患患者に適切なサービスを提供できるように支援体制の整備をはかります。

(1) 鈴鹿地域難病地域ケア会議の開催

難病患者に対して、在宅療養生活の支援システムを構築し、関係諸機関と連携を深めるとともに、地域住民に対して疾患の理解と早期発見・早期治療のための普及啓発を行い、地域に根ざしたネットワークづくり目的として、鈴鹿地域難病地域ケア会議を設置しています。

開催日・場所	議 題	出 席 者
H26. 2. 20 (木) 15:00~17:00 鈴鹿庁舎 4 階 46 会議室	1. 管内における特定疾患医療受給者の状況 2. 難病対策事業実施状況の報告 3. 三重県における難病対策について報告 4. 難病医療連絡協議会活動報告 5. 三重県難病相談支援センター活動報告 6. 難病対策における制度改正について 「制度改正の現状と今後について」 7. 「みえ歯と口腔の健康づくり基本計画」について	医師会・歯科医師会 薬剤師会 管内の協力病院等 4 ヶ所 管内訪問看護ステーション 7 ヶ所 管内居宅介護事業所 鈴鹿亀山地区広域連合 鈴鹿地域包括支援センター 亀山地域包括支援センター 鈴鹿市障害福祉課 亀山市高齢障がい支援室 三重県難病相談支援センター 三重県難病医療連絡協議会 健康福祉部健康づくり課 鈴鹿保健所 24 機関 延 34 名

(2) 医療相談事業

医療・療養生活・リハビリ・栄養等について、気軽に相談できる場を提供しています。

開催日時	対象者・相談者の内訳	相談従事者	相談内容
H25. 6. 18 (火) 13:30~16:30	神経・筋疾患 パーキンソン病 7 名 (延 8 名) 脊髄小脳変性症 1 名 (延 2 名) 多系統萎縮症 1 名 (延 2 名)	神経内科医 3 名 理学療法士 2 名 管理栄養士 1 名 保健師 2 名	医療相談 9 件 リハビリ相談 6 件 栄養相談 4 件

(3) 患者・家族交流会への支援

パーキンソン病、脊髄小脳変性症等の患者及び家族等が相互の親睦を図り、情報交換、自力回復に向けて努力することを目的として開催している「ほほえみ&まりも会」が、円滑に運営できるよう支援しています。

(4) 相談及び家庭訪問数

難病患者やその家族が抱える日常生活及び療養上の問題についての相談や必要に応じて家庭訪問を行います。

	延べ数 (件)
面接による相談件数	1,734 件
電話による相談件数	随時
家庭訪問件数	10 件

(5) 訪問指導

鈴鹿保健所管内のスモン患者に対する「スモンに関する調査研究班」の訪問検診の実施の協力 2件

(6) 人材育成

パーキンソン病、脊髄小脳変性症、ALS等の神経難病患者やその家族の多様かつ個別のニーズに応え、在宅支援を支えていくためには、専門職の支援が必要です。

このことから、在宅療養に関わる保健、医療及び福祉関係職員等を対象に、資質の向上を目的として研修を行います。

実施日・場所	内容	参加人数
H26.3.10(月) 13:30~16:15 独立行政法人 国立病院機構 鈴鹿病院	講義・実技 神経・筋難病患者の姿勢の特徴とケア方法 ・各疾患の移乗介助のポイント ・姿勢介助のポイント(仰臥位)(車いす) 講師 理学療法士 堤 恵志郎 氏 ディスカッション参加者(質疑応答を含む) 鈴鹿病院 小長谷院長 奥田総看護師長 地域医療連携係長 研修出席者 19名	合計 22名 (内訳) 介護支援専門員 12名 看護師 7名 保健師 3名